

令和4年第23回教育委員会定例会
(12月6日開会)

台東区教育委員会

○日 時 令和4年12月6日（火）午後2時02分から午後2時45分

○場 所 台東区役所 6階 教育委員会室

○出席者

教 育 長	佐藤 徳久
教育長職務代理者	高森 大乘
委 員	垣内恵美子
委 員	末廣 照純
委 員	神田しげみ

○出席者

事務局次長	梶 靖彦
庶務課長	横倉 亨
学務課長	川田 崇彰
児童保育課長	清水 良登
放課後対策担当課長	小野田 登
指導課長	瀧田 健二
教育改革担当課長 兼教育支援館長	工藤 哲士
生涯学習課長	久木田太郎
スポーツ振興課長	村松 克尚
中央図書館長	大塚美奈子
事務局副参事	河野 友和

○日 程

日程第1 教育長報告

1 協議事項

(1) 庶務課

ア 令和4年度学校・園ボランティアへの感謝状の贈呈について

2 報告事項

(1) 庶務課

ア 令和5年1月の行事予定について

(2) 学務課

イ 令和5年度区立幼稚園及び認定こども園（短時間保育）の募集状況について

(3) 児童保育課

ウ 令和5年度台東区立保育園修了お祝い会について

(4) 指導課

エ 令和5年度 始業式・終業式等（案）の日程について

(5) 生涯学習課

オ 国登録有形文化財建造物の登録について

3 その他

令和4年第3回区議会定例会決算特別委員会における審議事項等について

午後2時02分 開会

○佐藤教育長 ただいまから、令和4年第23回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、高森委員をお願いいたします。

ここで傍聴について申し上げます。

本日、会議の傍聴を希望する方につきましては、許可することとしておりますので、ご了承ください。

なお、撮影または録音につきましては、所定の手続を行った場合のみ許可することといたしたいと思っております。

それではまず、審議順序の変更について、私から申し上げます。

日程第1、教育長報告の報告事項、学務課の委員については議会報告前の案件であり、傍聴にはなじまないと思われれます。つきましては、順序を変更して、最後に聴取いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか

(異議なし)

○佐藤教育長 ご異議ございませんので、そのように決定させていただきます。

〈日程第1 教育長報告〉

1 協議事項

(1) 庶務課 ア

○佐藤教育長 それでは、日程第1、教育長報告の協議事項を議題とさせていただきます。

庶務課のアについて、庶務課長の説明をお願いいたします。

○庶務課長 それでは、協議事項、庶務課のア、令和4年度学校・園ボランティアへの感謝状の贈呈についてご説明をさせていただきます。

まず、項番1、感謝状贈呈の概要です。ボランティア活動を通じて、小・中学校等に貢献されている方々の労をねぎらい、さらなる活躍を期待し、その功績が特に顕著である個人又は団体に対して、感謝の意を表すため感謝状の贈呈を行うものでございます。

続きまして、項番2、贈呈の対象でございます。概ね2年以上の期間にわたり活動を行っている団体等としております。

続きまして(2)受賞予定者でございます。恐れ入ります、裏面をご覧ください。今年度は小学校が4校から3個人、1団体の推薦がありました。こちらにつきましては、受賞予定者といたしたいと考えております。資料の表面にお戻りください。

(3)贈呈式でございます。令和5年1月27日午前11時からを予定しております。場所は区役所10階の1001会議室でございます。教育委員会の皆様におかれましては、ご出席のほどよろしくをお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、贈呈式を中止とする場合がございます。その場合感謝状の贈呈は各学校・園ごとに行いたいと考えてございます。

簡単ではございますが、説明は以上となります。ご決定いただきますようよろしくお願い

いたします。

○佐藤教育長 ただいまの説明につきまして何かご質問はございませんでしょうか。どうぞ。垣内委員。

○垣内委員 同じ資料ですけれども、ちょっと気になったのでお尋ねですが、伝統文化とか歴史継承、キャンパス台東とか、いろいろな形でされているところもあるかと思うんですけれども、これは既に一巡されちゃったということなんでしょうか。0の理由は何でしょうか。

○庶務課長 ちょっとその、ここ数年の状況を今確認しているんですけど、令和2年度に浅草小学校のほうで伝統文化ボランティアですとかっていうのは表彰されて、あと、令和2年度に茶道ボランティアなどが、茶道をやっているところがあるんですけども、なかなかそれ以外のところで今そういった文化関係で上がってくるというところは、なかなか今のところないという形での状況でございます。

○垣内委員 それは、あまり活動がされていないという理解なんでしょうか。伝統文化だけじゃなくて、ほかのところも含めて、たくさんの活動がなされているのではと思われるところなんですけれども、なかなか推薦も出てこないということであると、それはどこかに何か検討すべき問題があるかどうか。その辺りはいかがなんでしょう。

○庶務課長 その点に関しては、やはり以前は同一内容における推薦は一回限りという形にはしていたんですけども、その条件を緩和して5年以上経過しているものは再推薦をしているということもございますので、また所属する団体が過去に受賞している場合であっても、特に顕著な活動をしている場合には、また推薦していただくということはできるんですけども、やはりちょっとまた一回推薦をもらっているということでなかなか上がってこないところもあるかと思えますので、その辺りはまた学校等に周知させていただいて、5年以上たてばまたいろいろな活動のところはまた推薦させていただくということはお願いをしていきたいと思っておりますが、基本的には5年以上経過しないとまた再推薦できないということで、同じ団体が毎年繰り返し毎年毎年というわけではございませんので、上がってきていないというところの状況であると考えてございます。

○神田委員 今の件に関してですが、基準というのはなかなか難しいのかなと思えますけれども、ぜひ、学校の校長等に働きかけをして、こういうことをしてくださっている方を子供たちに紹介をして、町の中でも子供たちや保護者に広げてほしいと思います。またやろうかなと思う人が増えると思います。台東区らしい、よい取組だと思いますので、ぜひ広げていただきたいです。

○高森委員 今のことに関連して台東区では、学びのキャンパスアクションプランニング事業が並行して行われていまして、学校ではそういったところを通じて、伝統文化と触れる機会を設けるようになったので、もしかしたらそういった理由でボランティアで活動しなくても、そちらのほうで関わっていただけの方が増えているのかなという気もするのですが、感触としてはどうでしょうか。今までですが、このボランティア活動をされてい

表彰された団体の方々がキャンパスプランニング事業のほうで関わっているということはありませんか。

○教育改革担当課長 多分ボランティアになると無償プランの方で、いるかもしれません。ちょっと今調べてみないと分からないんですけども。確かに伝統文化のところで無償でやっていただいている方がもしあれば、その地域で連携されている可能性はあります。、有償プランだとちょっとボランティアかどうかという微妙なところなので、もし分かればまたお伝えしたいと思います。

今のところ伝統文化では報償費等を払うものの方がかなりアクションプランなどでもあるんですけども、そこのボランティア活動からこっちに行った経緯というのは確認したことがないかなという可能性の方があるかなと思っております。

○高森委員 そうですか。分かりました。

○教育改革担当課長 ちょっと調べてみます。

○佐藤教育長 よろしいですか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは庶務課の案については、協議どおり決定したいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長 ご異議ございませんでしたので、協議どおり決定させていただきました。

2 報告事項

(1) 庶務課 ア

○佐藤教育長 次に、教育長報告、報告事項を議題とさせていただきます。

はじめに庶務課のアについて、庶務課長、報告をお願いいたします。

○庶務課長 それでは令和5年1月、教育委員会の行事予定についてです。資料2をご覧ください。

令和5年1月分でございますが、まず17日火曜日と24日火曜日は教育委員会定例会がございます。時間は両方とも14時から。場所は教育委員会室でございます。よろしく願いいたします。

続きまして1月19日木曜日、上野広小路遺跡三橋遺構完成記念式典が14時30分から区立下町風俗資料館隣りで行われます。こちらのほう、垣内委員のほうのご挨拶を予定しております。

続きまして、1月27日金曜日です。令和4年度学校・園ボランティア感謝状贈呈式がございます。こちらは11時から1001会議室です。こちらは挨拶を神田委員のほうをご予定してございます。

続きまして27日金曜日、台東区教育委員会人権尊重教育推進校研究発表会がございます。時間のほうは13時から千東学校でございます。こちらのほう、ご挨拶のほうを高森委員の

ほうをご予定しております。

最後に1月31日火曜日、台東区立小学校PTA連合会・中学校PTA連合会合総新年意見交換会でございます。時間のほうは18時30分から上野東天紅でございます。こちらの挨拶のほうを垣内委員でご予定しております。

その他のご案内についてはございません。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは庶務課の案については報告どおりご了承願います。

(3) 児童保育課 ウ

○佐藤教育長 次に児童保育課のウについて、児童保育課長、報告をお願いいたします。

○児童保育課長 失礼いたします。それでは、報告事項の(3)ウ、令和5年度台東区立保育園修了お祝い会についてご説明をいたします。日時は令和6年3月12日火曜日午前10時から、場所は区立保育園10園、参列者は区長、教育長、教育委員の皆様、事務局管理職を予定しております。大変恐縮ですが、後日参列依頼をお送りいたします。教育委員の皆様におかれましては、ご多用の折、恐縮ではございますが、ご予定いただきますようお願い申し上げます。

ご説明は以上です。

○佐藤教育長 ただいまの報告について何かご質問ございますか。よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは児童保育課の報告ウについては、報告どおり了承願います。

(4) 指導課 エ

○佐藤教育長 次に指導課のエについて、指導課長から報告をお願いいたします。

○指導課長 それでは、令和5年度の始業式・終業式・入学式・卒業式についてご説明させていただきます。

資料5をご覧ください。各学期の始業式・終業式につきましては、台東区立学校・園管理規則に基づき設定させていただきました。入学式・入園式並びに卒業式と幼稚園の修了式につきましては、特に管理運営規則による定めはございませんが、始業式・終業式の日程及び曜日等を考慮し、設定させていただきました。

令和5年度の始業式・終業式等の日程についての説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○佐藤教育長 ただいまの報告につきまして何かご質問ございますか。

よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは指導課のエについては、報告どおり了承をお願いいたします。

(5) 生涯学習課 オ

○佐藤教育長 次に生涯学習課のオについて、生涯学習課長から報告をお願いいたします。

○生涯学習課長 それでは、報告事項オ、国登録有形文化財建造物の登録について、ご説明いたします。登録有形文化財建造物は50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、緩やかな規制を通じて保存・活用を図る国の制度になります。

去る11月18日に開催された文化審議会において、新たに109件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申が行われ、今後、官報告示を経て登録される予定です。そのうち4件につきましては台東区内の建造物となっており、区内の登録建造物は41件となる予定でございます。

今回答申された区内の建造物は2のとおりです。はじめに(1)から(3)浅草一丁目仲見世通りの東にある今半本店西奥座敷、東奥座敷、北奥座敷の三棟です。特徴でございますが、いずれも料亭の座敷棟で、西奥座敷は、春日・吉野・神代の部屋名からなる四畳半三室で構成されており、それぞれ部屋名の杉材を使う数寄屋部の意匠となっております。東奥座敷につきましては、松・竹・梅の六畳三室で構成されており、それぞれの部屋名の材を各所に使う数寄屋部風の意匠となっております。北奥座敷は四畳半三室で構成されており、建材に凝るのではなく、組子や網代などの技法に凝った造りとなっております。三棟のいずれも数寄屋部風小座敷で構成されており、すき焼き料亭の典型となっております。

恐れ入りますが2ページ目をご覧ください。(4)池之端四丁目にある岩田家住宅和館でございます。特徴といたしましては、近代和風の住宅で、客用玄関を通りに開いていて、中廊下で座敷や茶室をつないでおります。意匠は華美にならず、伝統的で明治らしい和風の応接空間で、住時の住宅の景観を伝えております。

以上4件が今回登録される予定の建造物でございます。なお、3ページ、4ページにつきましては、参考といたしまして12月1日現在の台東区内にある登録有形文化財建造物37件について記載しております。

説明は以上でございます。

○佐藤教育長 ただいまの報告について、何かご質問ございませんか。

よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは生涯学習課のオにつきましては、報告どおり了承願います。

3 その他

○佐藤教育長 次に、その他事項についてでございます。

事前に資料を配付させていただいております。後ほどご覧いただければと思いますが、資料について、ご説明や補足の説明などはありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、会議の冒頭に申し上げましたとおり、これより議会報告前の案件について聴取いたしたいと思っております。

恐れ入りますが、傍聴人の方はご退室をお願いします。

(傍聴人退室)

〈日程第1 教育長報告〉

2 報告事項

(2) 学務課 イ

○佐藤教育長 それでは、日程第1、教育長報告の報告事項を議題といたします。

学務課のイについて、学務課長、報告をお願いします。

○学務課長 それでは、学務課の報告事項、令和5年度区立幼稚園及び認定こども園（短時間保育）の募集状況について、ご報告いたします。資料3をご覧ください。

本件は、先月11月15日の教育委員会でご報告をいたしました申込状況から、11月17日に実施をした寿こども園3歳児クラスの抽選結果を踏まえて、現在の状況についてご報告するものでございます。

項番1、区立幼稚園の申込状況です。こちらは、先月の報告より変動はございません。それぞれ3歳児・4歳児・5歳児クラスの在籍予定数は記載のとおりとなっており、その合計数は346名となっております。また、台桜幼稚園の3歳児クラスについては、応募人数が6名以下ですので、現時点では入園を保留としております。

次に、(2) 預かり保育申込です。記載5園の定期登録利用枠の申込状況です。こちらも先月の報告より変動はございません。表をご覧くださいまして、3歳児クラス・4歳児クラス・5歳児クラスの合計の登録予定数は、全体で47名となっております。

恐れ入ります。2ページ、裏面をご覧ください。項番2、区立こども園の短時間保育の申込状況です。3歳児クラスの在籍予定数をご覧ください。ことぶきこども園については、募集人数を上回る応募があったため、11月17日に公開抽選を実施いたしました。また、3歳児クラスと4歳児クラスの間で定員調整を行い、3歳児クラスの定員を1名引上げ、25名に、4歳児クラスの定員を1名引下げ、27名にしております。

なお、補欠となった方は、他の園を選ばなかったため、二次希望は0名となっております。

この結果、3歳児クラスの在籍予定数は、きょうだい優先を含めて、3園で59名となっております。次に、4歳児クラスの在籍予定数は、現3歳児の持ち上がりと新規申込の合計48

名となっております。最後の5歳児クラスの在籍予定数は、現4歳児の持ち上がり56名となっており、3歳から5歳クラスの合計は163名となっております。

項番3、スケジュールです。12月9日より申込受付を再開いたします。幼稚園、3歳児クラスの応募人数が6名以下の台桜幼稚園につきましても、12月16日午後4時が学級編制判断期間となっており、この時点までに応募人数が7名以上とならなかった場合は、募集中止となります。その後、令和5年1月6日に内定通知を発送し、入園に向けて準備を進めてまいります。

ご説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

○佐藤教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんでしょうか。

○垣内委員 2つお尋ねしたいと思います。募集中止となった場合は、どうなるのでしょうか。ご希望の5名で編制することなのか、どうなるのでしょうかね。

それから二つ目は、やはり定員と在籍予定者数が非常に大きく乖離している所が、たくさんお見受けいたします。それで、後の裏面でも、3つしかないこども園ですけど、寿こども園はそこそこだろうと思うんですけど、他の所は微妙に人数も少なく、この理由は何か。今後、たしか今ご検討中と聞いておりますが、どういうふうな方向で将来運営していかれようとするのか。そのあたりについて、差し支えない範囲でご説明いただければと思います。

○学務課長 まず、1点目、学級編制が6名以下になってしまった場合なんですけど、基本的にはそのときには、来年度、3歳児クラスを、その園については編制を行わないというような形になります。なので、令和5年度については、3歳児クラスをつくらないというような形になりまして、そのさらにまた次、令和6年度は普通に募集をするような状況というような形になります。

○垣内委員 この5人はどうなるのでしょうか。

○学務課長 この5人につきましては、学級編制はしないということなので、残りのご希望されるその他の園に移っていただくというような形になります。

○垣内委員 これはご本人さんたちの希望としては、他の第2次希望とかに大体入れるという理解でよろしいですか。

○学務課長 この区立幼稚園を希望される場合には、今おっしゃっていただいたとおり、定員と在籍はまだまだ余裕がありますので、移っていただけるというような形になります。

2点目の定員と在籍予定数に乖離がある部分なんですけれども、まず幼稚園につきましても、おっしゃるとおり、ここがこれまでのずっと積年の課題でもございまして、今現在、預かり保育を拡充して、お弁当給食も拡充をして努めているところです。今年度につきましては、特に周知に力を入れさせていただいて、0から2歳の小規模施設、そういったところにも預かり保育の拡充をしているということで取組を続けてまいりました。その結果、預かり保育については、昨年度、3歳児クラスが14人だったところが、一応21人という形で、増にはなっております。割合で言いますと、43%だったのが、3歳児クラスは60%の

預かり保育の利用率ということになっておりますので、引き続き、定員と在籍予定数の乖離はあるんですけど、こういった取組を引き続き、続けさせてもらって、周知させてもらって、幼稚園のよさを知っていただきたいと考えております。

また、裏面のこども園につきましては、ことぶきとたいとうにつきまして、たいとうは4歳児クラスの部分で少し、昨年若干人数が減ったところはあるんですけど、ことぶきとたいとうについては、例年、概ね25人、短時間保育の定員まで来ているような状況です。石浜につきましては、こちらは実は先月ご質問にお答えした形なんですけれども、考えられる要素としては、令和元年度に清川地区に一つ保育園ができて、そこで少し子供たちの数というのがそちらに流れたのかなというような予測をしているところでございます。また、清川地区全体でも、やはり子供の数というのが減っているような状況もまた一つの要因かなとは考えているところでございます。

ここについての改革なんですけど、幼稚園と被ってくるんですけど、やはり石浜橋場のよさというのを周辺の地域に知っていただくというのが引き続き重要なのかなということで周知、継続して取り組んでまいりたいと考えております。

区立幼稚園の今後の方向性なんですけれども、実際には今申し上げた、引き続き周知に力を入れさせていただくと、あと、令和5年度なんですけれども、次世代の計画のほうの、子育てに関するニーズ調査がございまして、今我々も今年度、区立幼稚園の在園児の保護者には、預かり保育と給食について、改めてアンケートは取ったところなんですけど、再度この令和5年度のニーズ調査、こちらを活用させていただいて、最新の保護者さんのニーズの把握を捉えて、今後の区立幼稚園、規模とあとサービスについては、その調査の中からまた検討して、今後も検討していきたいと考えています。

○垣内委員 ずっとこれ、継続課題だったような気がしています。私が教育委員になった頃からもう既に顕在化していた課題のように思うんですけども、私も3期目です。結構長い年月、ずっとなかなか解決するのが難しかった課題ではあろうかと思うんですけど、その間いろいろな調査をされていると思うんですよ。それで、改良もされてきて。一度ここでPDCサイクルを回すというのが、やっぱり必要かと思うんですけど、情報の普及が今のところ一番の、一番大事な対応というお考えなんですかね。何かもうちょっとこういうところは変わらなくていいんでしょうかという。差し支えない範囲で。

○学務課長 垣内委員のおっしゃるとおり、長年の課題に対しまして、まず我々の中で預かり保育を始める、また、お弁当給食を始める、こうした中で、そのタイミング、タイミングで始めることに対してのアンケートの実施をして、また、本年度も始めたことで、始めてまた1年、2年たったらのアンケートも取っていききたいなというのはございます。

また、他区の状況の、他区の幼稚園の取組だとか、そういったところも情報収集しながら、何か策は考えているところなんですけれども、現時点で効果的な策としては、やはり預かり保育と給食かなということでございまして、そこについて、まずしっかり利用者にこういったものを幼稚園が取り組んでいるということで、周知をしっかりとさせていただ

いて、繰り返しになりますが、来年度のニーズ調査の中で、利用者のご意向をきっちり把握をして、今後どう対応していくかというのを酌み出していきたいと考えております。

○神田委員 私も同様に思います。この預かり保育と、弁当給食をご利用いただくのは大変よいことですし、今年度利用率もアップしたということは、よかったです。ただ100%になっていないということで、まだ、余裕があるのに使われていない、原因は何なのかと、思いました。やっぱり保育園等で預かる時間や内容と、同じにするのは難しいとは思いますが、預かり保育の申請のハードルを少し下げるなど、具体的な改善は今後あるのでしょうか。それとも来年度は今年と同様にとお考えなんでしょうか。

○学務課長 今回、令和4年度、今年度とりました預かり保育と給食の利用者さんの、在籍園児の保護者の声なんですけれども、多かったものとしては、預かり保育をリフレッシュ目的で使わせてくれないかということがありました。前も教育委員会の中でも話題になったかもしれないんですけど。

そこについては、今、保育園のほうでも実施をしております、そういった預かりのサービスですとか、そういったこととバランスを取りながらちょっと考えていかなければいけないので、現時点ではちょっとまだペンディングというような形で検討を続けていかなければいけないというような、そういうような状況です。

○垣内委員 全く同じにするというわけにはいかないかもしれませんが、もともとが違う発想でできているものだと思うんですけれども、本当にニーズというのをぜひ早めに取り上げて、早く改革に着手ができるとういと思います。台東区の幼稚園はとてものいいんですけれども、手遅れにならないように、早めに対応をお願いしたいと思います。

○高森委員 公立の幼稚園、短時間がこういうふうにならなくなっていることの最大の理由は、施設増ということにも起因しているとは思いますが、それは当然国のほうで待機児の解消という目的があったので、どうしても施設を増やさなければいけないという事情がありましたから、公立幼稚園を取り巻く環境は非常に今シビアだと思うのですね。たくさんの保育施設が増えましたから。そういう意味では、これは別に公立幼稚園に問題があるのではなくて、周りの環境がそうになってしまっているの、自然にそちらに流れてしまうのは、これはもう致し方ないことだと思うんですよ。そういった中で、いろいろな取組を、それこそ給食だとか、預かり保育だとか、そういったことを実施しているけれども、それもそれほどの即効性がないというのは、なんとも心苦しいなと思うところがあると思うのですね。

垣内委員もおっしゃっていたように、この幼稚園の園数をどのように調整していくとか、そういったこともこれから恐らく話が出てくると思うんですが、そういった場合に問題になるのは、働いている先生方のケアをしていかなければいけないということなんです。働いている先生方の行き場がなくなってしまうとか、そういったことは避けなければいけないので、せっかく育ってきた先生方を守る訳ではないんですけれども、うまく活躍できる場を提供してあげる必要があるの、いろいろな問題を抱えながら、調整しながら

今後予定を考えていかなければいけないと思います。幼稚園の経営されている先生方のご意見もよく聞きながら、どのような形が今後望ましいかということは判断していかなきゃいけないのと、いろいろな意見があると思いますので、それを吸い上げていただきたいなと思います。

もう一つ伺いたいのが、先ほどの裏面のこども園の短時間のほうですけれども、長時間はどんな感じなのかなということがちょっと気になる場所なんです。石浜橋場は公設公営ですけれども、確かに定員はかなり低いですが、長時間のほうは、こちらはどのようになりますか。

○児童保育課長 石浜橋場こども園の入所状況なんですけど、令和5年4月の入所の申請については、まだ集計中なのでお答えできないんですけど、令和4年の実績ですと、ほぼ満杯の状況でございます。

○高森委員 よく分かりました。多分令和5年も恐らくそのくらいの水準までは希望があると思うんですね、やはり保護者、家庭のニーズは長時間保育というところに流れて、それは公設公営でもニーズはあるわけなんです。そういった意味も含めると、預かり保育をこれから全面実施していくことによって、少しは追い風になるかもしれませんが、もうちょっと抜本的に何か考えていけば公立幼稚園を守ることができると思うので、いろいろな検討材料があると思います。引き続きよろしく願いいたします。

ちなみに、もう一ついいですか。先ほど、台桜幼稚園が6名以下の場合にはクラス編成を行わないということですが、この台桜幼稚園を取り巻く周りの保育施設関係、私立の保育園も含めて、こちらはどのような感じでしょう。

○児童保育課長 近隣の中で一つ取り上げますと、区立の谷中保育園がございまして、谷中保育園につきましては、令和4年4月の実績で、0歳児が定員9名のところが、5名しか入っていないという状況がございまして。後は、先ほど、現在集計中だというお話をしていた来年4月についても谷中の0については、極めて少ないんじゃないかという予測を今しておるところでございます。

○高森委員 私立は分かりません。

○児童保育課長 先に、私立の保育園のほうの状況ですが、私立の保育園につきましても、谷中地区につきましては、0歳から2歳というところについては定員割れをしているような状況と認識しています。

○垣内委員 子供がいないんですね。もともといないんですね。

○高森委員 少ない方かもしれませんね、大きなマンションとかはあまり建たないですからね。

○庶務課長 谷中につきましては、ちょっとバランスがあるんですけど、初音はなんかは意外と頑張っているというところもありますので、ちょっと園によってはばらつきがある。どちらかというと、今、状況を聞いている限りでは、蔵前がちょっと今苦戦しているなど。他区の、他区から入ってくるところがなかなか。区民は結構入ってきているんです

けど、他区から引っ張り切れていないというのが今年度の状況という形では認識しているところでございます。

○末廣委員 これから幼児の台東区在住の、例えばこれから5年間の幼児の人数ですね。それはもう区のほうで把握していると思いますが、その数字はやはり子供は増えるほうこうではあるのか、ないのか。ちょっとお聞きしたいんですが。

○学務課長 今、手元には正確な数がちょっとあれなんですけど、傾向として申し上げますと、0から5歳の未就学の人口なんですけど令和2をピークに下がってきている、減少しているような状況ですので、令和4年度につきましても、4月と比べて、この10月にまた下がっているというような状況、減少傾向にあるのは間違いありません。

○末廣委員 それじゃあもう、やはり今のこのままですよいずれまたみんな少なく、人数が減っていくという予想ですよ。分かりました。そのときに、やはりいろいろと園を、先ほども出ましたが、園の数を減らすのとか、そういういろいろなことを考えなきゃいけない時期が来るんじゃないかと思っておりますけど、分かりました。

○高森委員 やはり預かり保育を実施している5園の様子を見てみると、公立の幼稚園、短時間に通わせている保護者の家庭は、預かり保育をそれほど必要としない家庭が多いような印象を受けますね。家庭の状況もそれぞれあるでしょうから。やらないよりはやったほうが良いと思いますけど。全園実施したら多分その分分散しますので、今一つの園に集中するのが分散するから、果たしてどれだけ効果があるかというのはまだこれから少し見ていかなければいけないかなという部分はあると思います。ちょっと心配でありますね。

ちなみに、預かりは今後どのような展開を予定されていますか。

○学務課長 今、高森委員がおっしゃったとおり、まだニーズとしては、まだまだこれは高いとは言えないような状況なので、引き続き、先ほどもお伝えしましたとおり、やはり周知には力を入れていかないとはいけません。

基本的には、まずこの5園の拡充園で、今年度と同様の取組を引き続き、継続して続けていきたいと考えています。

○神田委員 根岸や田原はかなり回復しているので、何か対策をとられたのでしょうか。

○高森委員 今の5歳児のときでしたっけ。

○神田委員 そうです。何か方策があったのでしょうかね。

○高森委員 去年から預かりが入っているんですよ。

○学務課長 申し訳ございません。ちょっと特別な方策をやったかどうかというのはちょっと分からないんですけれども、ただ、この預かり保育を拡充したというのも一つの一因ではないのかなと考えてはいるところです。

○神田委員 分かりました。

○末廣委員 その割には手を挙げていないですけどね。

○学務課長 両方共通ではないですけど、あとは今出ました根岸のほうは、大規模改修を終えて新しい園舎になっているというのも魅力の一つなのかなと推測はされます。

○佐藤教育長 よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、学務課のイについては、報告どおりご了承願います。

3 その他

○佐藤教育長 本日の議題は以上でございませう。その他何かございませうでしょうか。
よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 以上をもって、本日予定された議事日程は全て終了いたしました。これを持ちまして、本日の定例会を閉じ、散会いたします。

午後2時45分 閉会